

まんまるはーと月形町



旬の新鮮情報



年末年始号



12月のこよみ

23日【天皇誕生日】
31日【年越し】

(大) 師走 (しわす)
すべてのこどもを「為果す」月です

1月のこよみ

(大) 睦月 (むつき)

むつみあう、こましくするという意味で、すべてのものが気持ちを
寄せ合って新しい年を迎える月です。

- 1日【元 旦】年賀・初詣
- 5日【小 寒】寒気がだんだん強くなる
- 7日【七 草】七草を入れたお粥を食べる
- 9日【成人式】
- 11日【鏡開き】お供えした鏡モチを割って食べる
- 20日【大 寒】ひどく寒いとき

12月の行事予定

- 11月29日～12月3日 · 第3回定期監査
- 14日 · 農事組合長会議
- 26日 · 第11回理事会

2011年1月の行事予定

- 6日 · 役職員新年交礼会



新年のご挨拶

代表理事組合長

柴田惺

新年明けましておめでとうございます

組合員の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、平成二十四年の新春を健やかに迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。また、日頃よりAの事業運営に対しご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、三月十一日の東日本大震災と福島第一原発の放射能漏れ事故の発生をはじめ、道内に於いても降雹被害や台風など自然の驚異を実感させられた年となりました。JAグループ北海道として被災地支援への取り組みに対しましては、組合員の皆様をはじめ多くの方々より義援金をお寄せいただきましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。

さて農作物も春先の低温、長雨による天候不順により適期作業が行えず、残念ながら麦・大豆は整

北海道農業協同組合中央会
会長 飛田稔章

年頭にあたり

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成二十四年の新春をご家族とともに迎えら

安心な農畜産物を安定的に消

向けてあらゆる支援を続けてこと、政府の指導のもとで安

北海道農業協同組合中央会
頭にあたり
会長 飛田
お慶びを申し上げます。

の皆様にお届けすることに、今こそ協同組合の精神である「絆」を

先には育の遅大切にする価値観のもとで、総力を挙げて取り組むことが必要です

には天
電被害
つて地
また 環太平洋連携協定(TP
P)に関しJAグループ北海道は
与野党国會議員に対する要請を行

馬鹿の國を詰めいれて、要請を行つた。この、
「ともに考え方、『この国のかた
ない、昨年十一月四日に札幌市で

なりま
ち TPP交渉問題を考える道民
集会」を開催しました。野田首相

さて、東日本大震災から九ヶ月以上が経過しましたが、復興への道筋は決して容易なものとはなつておらず、また原発事故の収束にも目途が立たず、全国の農業者や消費者は不安な日々を抱えていました。JAグループは、今後とも食料供給基地である被災地の復興に

業協同組合中央会
長 飛 田 稔 章

あたり

申し上げます。

向けてあらゆる支援を続けていくこと、政府の指導のもとで安全・安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様にお届けすることに、今こそ協同組合の精神である「絆」を大切にする価値観のもとで、総力を挙げて取り組むことが必要です。また、環太平洋連携協定（TPP）に関しJAグループ北海道は、与野党国會議員に対する要請を行ない、昨年十一月四日に札幌市で「ともに考えよう『この国のかたち』TPP交渉問題を考える道民集会」を開催しました。野田首相がAPECに向け「交渉参加に向けて関係各国との協議を開始し、各国が我が国に求めるものについて、さらなる情報収集に努め、十分な国民的な議論を経た上で、あくまで国益の視点に立つてTPPについての結論を得る」との方針を表明したことは、議論が全く成

価格低迷などが重なり、収量・品質低下を補うことが出来ませんで
した。しかし、米に於いては、冷
害危険期の天候が高温多照で経過
したこと、登熟期の好天と病害虫
の発生も少なかつたため、製品歩
留えいの高い質・量ともに近年に
ない出来秋となつたところです。

震災の復旧・復興を揚げて就任
した野田総理は、関税撤廃が原則
の自由貿易協定「ＴＴＰ交渉参加
に向けて関係国と協議に入る」を
国民合意のないままＡＰＥＣ首脳
会議直前に表明しました。ＴＰＰ

しては、農山漁村の崩壊にも繋がりかねません。また、医療や保険公共事業、金融、食の安全など様々な分野に影響を及ぼすことが予想されます。

一方政府では、震災の復興財源確保法が成立し所得税の税額一律二・一%上乗せを二〇一三年から二十五年間、また、個人住民税率千円上乗せを二〇一四年から十年間実施することが正式決定しました。更に消費増税、年金受給開始年齢を引き上げることなどが検討されており、我々の暮らし、経

最後に、組合員そしてご家族の皆様のご健勝とご多幸、豊穣の出来秋を祈念し新年の挨拶といたします。

熟していない段階での見切り発車の何ものでもなく、J A グループ北海道として強く抗議しました。この問題は、まさに「国のかたち」のゆくえが憂慮される事態であり、組合員の営農と生活を守るためにも政府の暴走を断じて許すことはできません。お金を出せば食料を確保できる時代ではなく、経済成長と引き替えに国民生活の安全・安心を損なう国政はあってはなりません。今後も TPP 交渉参加の正式表明を断固阻止するため、国民的理解の醸成に向け北海道の総力を挙げて強力な運動を開してまいります。

J A 経営では「協同と信頼の絆」で築く新時代の J A の実践によつて、経営の健全化と強靭な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有する J A となることをめざすものであります。また、国連は平成二十四年を国際協同組合年とすることを宣言しました。「協同組合がよりよい社会を築きます」のスローガンのもと、協同組合の社会的役割・意義をアピールしていきましょう。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によつては、農業への影響が大きく懸念されますが、全国の組合員の皆様をはじめ J A 役職員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を協力的に展開することにより、この苦境を開拓し未来を切り開くものと確信しております。

は関税撤廃と規制緩和、制度改革を同時進行することが問題であります。参加の是非に於いては国論、民主党内でも意見が二分しているのが現状で、衆参与野党国會議員や農業団体をはじめ全国知事会や市長会・町村会、関係団体などは拙速な交渉参加に反対を唱えております。

農業強化策や自給率向上対策など我々が懸念している分野に対し、国の説明や具体策も示さないまま参加をすることは、農林水産業などを基幹産業とする北海道と

濟に大きな打撃を与えることが危惧されます。復興支援には一定の理解はしつつもTPPに関しては今後もオール北海道として参加阻止に向けて、行政・関係団体等と引き続き連携し「TPPから日本の食と暮らし、命を守る」運動を継続して参りますので、ご理解とご協力をお願ひ申し上げます。

J Aとしましても、地域農業・農村の将来を見据え、実情に即した支援と経営の安定に向けた地域農業振興に役職員が一体となつて取り組んで参ります。

農業共済加入のおねがい

日頃皆様方には、JA並びにNOSA!の事業運営にかかわり特段のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年の農耕期間の気象経過は、4月中旬から5月中旬にかけて、低温・多雨・日照不足で経過し、畑作物においては藩主・移植作業等に影響がございました。6月以降は高温と局地的な豪雨により、7月下旬以降に収穫期を迎えた小麦や8月下旬に収穫するたまねぎをはじめとする、多くの作物に雨害湿潤、病害等が発生し収量及び生産金額(品質低下)の減少が生じました。このため農家経営に与える影響は多大なものと推察され、被害に見舞われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

農業共済制度は農作物(水稻・麦)、畑作物、園芸施設、家畜など、災害が発生した時に共済金を支払うことにより、農家が被る損失を補填し、農業経営の安定と再生産力を図ることを目的としており、国が掛金の約半分を負担するなど国の農業災害対策の柱であります。

平成5年、15年の大冷害時や平成16年の台風などによる被害、近年では、小麦の連続被害や大豆・たまねぎをはじめとする畑作物に多額の共済金を支払うなど、制度機能を最大限に発揮したことはご承知のとおりであります。

このためJAと致しましても、自然災害による不慮の災害に備えてNOSA!に加入する際生ずる掛金等の、営農計画書への計上などのご相談に、逐次対応することと致しておりますので、詳しくはJAまたはNOSA!担当者までご連絡ください。

地球温暖化による災害が心配される昨今ですが、被害損失を最小限にする為にも、一層のNOSA!制度機能の発揮を目指して参ります。また、昨年より実施された農業者戸別所得補償制度は組合員個々の生産数量に対して交付金が支払われる仕組みとなり、最高補償水準での農業共済制度へのセット加入が重要となっていますので、何とぞ趣旨をご理解いただき、NOSA!に加入された万全を期していただきたいと存じます。

平成24年1月

月形町農業協同組合 代表理事組合長 柴田悟
いわみざわ農業協同組合 代表理事組合長 村木秀雄
美唄市農業協同組合 代表理事組合長 海老田聖一
峰延農業協同組合 代表理事組合長 三枝法廣
空知中央農業共済組合 組合長理事 谷内章広

TPP参加断固阻止 空知緊急集会

11月20日に空知管内農協組合長会と空知農業会が主催し「TPP断固阻止・農民連合」が空知農業会館駐車場で開催されました。農業関係者をはじめ行政機関、医師会、建設協会など約600人が参加しました。JA月形町からはJA役員、農民連盟、農業委員会など6団体で約30名が参加しました。



農協からのお知らせ

TPP参加断固阻止 空知緊急集会

組合員規定が変更になり、組合員の方で住所・氏名・組合員資格等が変更になりましたら、所定の手続きが必要になりますので、JA(総務課まで)にお知らせください。

11月20日に空知管内農協組合長会と空知農業会が主催し「TPP断固阻止・農民連合」が空知農業会館駐車場で開催されました。農業関係者をはじめ行政機関、医師会、建設協会など約600人が参加しました。JA月形町からはJA役員、農民連盟、農業委員会など6団体で約30名が参加しました。



蔬菜生産組合
花き生産組合

生産組合出荷反省会

11月18日に月形蔬菜生産組合、12月2日に月形花き生産組合の出荷反省会が多勢の生産者と関係者出席のもと開催されました。反省会では、本年度の出荷状況や販売額などがJA担当者より報告され、次年度に向けた話し合いが行われました。

フォトニュース



J A青年部道内視察

11月7日、8日、農協青年部事業において道内視察が行われました。

今年度は帯広へ農機具を中心とした視察を行いました。

生産組合出荷反省会

11月18日に月形蔬菜生産組合、12月2日に月形花き生産組合の出荷反省会が多勢の生産者と関係者出席のもと開催されました。反省会では、本年度の出荷状況や販売額などがJA担当者より報告され、次年度に向けた話し合いが行われました。

【よい食通信】 ◇食農教育のツボを押さえよう！◇

■日本各地の魅力を発信するJALと「みんなのよい食プロジェクト」とのコラボレーション

JALは、日本各地の観光地や自然、文化、食などの魅力を再発見し、世界に向けて発信する「JAPAN PROJECT」を取り組んでいます。この「JAPAN PROJECT」に取り組むJALと、日本の「よい食」を発信して国産農畜産物の消費拡大を目指す「みんなのよい食プロジェクト」が連携することで、日本の「よい食」と、それを生み出す農業や農村、農村文化や食文化の魅力とともに広く発信することを目指しています。

■ごはんをテーマにJAL社員が「よい食」を体験

テーマとして、日本の食卓の象徴であるごはんを取り上げました。JALの社員や家族、CA(キャビン・アテンダント)が産地を訪ね、稲刈りなどを体験しながら、米のおいしさや、それらを支える農家やJAの努力、豊かな自然環境、文化や歴史などを五感で感じ取ります。

今年度にJAL関係者が訪ねた産地とその品種は、新潟・魚沼の「コシヒカリ」、山形の「ひとめぼれ」、熊本・菊池の「ヒノヒカリ」です。全国的に見て最も生産量が多い3品種に焦点をあて、食味の面でも継続して評価されている産地を選びました。

■機内誌、機内上映に加え羽田のラウンジでおにぎりをサービス

JAL社員が体験した日本の「よい食」と地域の魅力を、機内誌「skyward」や機内上映を通して搭乗客にPRします。機内誌や機内上映では、CA(キャビン・アテンダント)がナビゲート役を務め、地元のJA関係者や生産者が登場します。

機内誌では11月に新潟を、12月に山形、1月に熊本の3産地を取り上げます。また、食を通じて3産地の素晴らしさを紹介する機内上映を1月に放映する予定です。

また羽田空港国内線のダイヤモンド・プレミアラウンジでは機内誌の掲載と連動して、「おにぎり朝ごはんで日本を元気にキャンペーン」を開催します。11月には新潟・魚沼産「コシヒカリ」、12月には山形産「ひとめぼれ」、1月には熊本・菊池産「ヒノヒカリ」の米を使ったおにぎりを、ラウンジ利用者に提供していきます。

■今後もさまざまな企業・団体との連携を拡大へ

「みんなのよい食プロジェクト」では、今後もさまざまな企業や団体と連携し、「よい食」の仲間づくりと、国産農畜産物の消費拡大につなげています。

空知農民連

書記長 金山伸吾
書記次長 我妻耕

こんにちは農民連盟 -11月-

- 4日 TPP交渉参加問題を考える道民集会 副委員長
- 9日 南プロック委員長・副委員長研修(10日迄) 委員長・副委員長
- 15日 拡大執行委員会 委員長・副委員長・書記次長 税担当者会議 書記長・書記次長
- 20日 TPP緊急集会 常任委員 小平忠正衆議院議員とのTPP交渉に関する意見交換会 委員長・書記長・書記次長
- 21日 全道書記次長・事務担当者農政学習会 委員長・書記長 南プロック代表者会議 書記長
- 24日 中間監査・常任委員会 常任委員

ホクレン♪スタンド情報♪

ハイオク	153 円/ℓ(税込み)
レギュラー	142 円/ℓ(税込み)
軽油	127 円/ℓ(税込み)
灯油	90 円/ℓ(税込み)

(12月3日現在)
ハイオク・ガソリン・軽油の店頭払いは現金・クミカンの場合2円引きです。

農協文庫 今月号 新刊のお知らせ

販取り・貸出しを行っていますので、詳しくは、営農推進課まで連絡下さい。

ひと目でわかるクリスマスローズの選び方・育て方

野々口 稔 著

クリスマスローズの株や好みの花の選び方から、季節ごとの栽培手順、ポイントまで、豊富な写真でわかりやすく解説。最新新種の写真も掲載しているので、お気に入りのクリスマスローズがきっと見つかります。

なすび亭・吉岡英尋のだしを使わないおいしい和食

吉岡 英尋 著

だしを使わずに作る和食のレシピを、なすび亭・吉岡英尋シェフが伝授。煮物、焼き物から、揚げ物、炒め物、5分でパバっと作れる副菜まで全98品。味付けのアレンジ法も紹介しているので弁当にも使える。

つなげていきたい野崎洋光の二十四節気の食

野崎 洋光 著

野崎洋光氏がふるさとへの思いをこめた、郷土料理のレシピ集。二十四節気にもとづき、その季節ごとの料理や行事を、現地の風景とともに鮮やかな写真で彩る。未来へつなげていきたい東北の姿がそこにある。

今月の農協文庫の新刊をお知らせします。

第5回拡大執行委員会

(23年11月15日開催)
状況・情勢報告とともに各競技会事項のポイント(一部)

①非農家とともに抗議集会「住民緊急集会」の開催

②各議会への要望意見書の取組

③抗議打電行動

◎米

④農業者戸別所得補償制度に係る仮渡金実施要領について

⑤組合員の対応方針(案)について

⑥付議第1号 平成24年度特別対策

⑦付議第2号 J.A.形町不祥事防

止策の対応について

⑧付議第3号 代位弁済履行に伴う北海道農業信用基金協会への外

部出資(特別出資額)拠出につい

て付議第4号 安全衛生管理関連規

定類の制定及び廃止について

付議第5号 経理規定の一部改正

について付議第6号 規定期管理規定の一

部改正について

付議第7号 J.A.全国監査機構の

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第8号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第9号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領第4

条対応期間等の要件設定につい

て付議第10号 平成24年度特別対策

組合員の対応方針(案)について

付議第11号 J.A.形町不祥事防

止策の対応について

付議第12号 代位弁済履行に伴う

北海道農業信用基金協会への外

部出資(特別出資額)拠出につい

て付議第13号 安全衛生管理関連規

定類の制定及び廃止について

付議第14号 経理規定の一部改正

について付議第15号 規定期管理規定の一

部改正について

付議第16号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第17号 J.A.全国監査機構の

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第18号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第19号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第20号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第21号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第22号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第23号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第24号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第25号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第26号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第27号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第28号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第29号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第30号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第31号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第32号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第33号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第34号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第35号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第36号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第37号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第38号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第39号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第40号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第41号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第42号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第43号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第44号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第45号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第46号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第47号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

定について

付議第48号 農業者戸別所得補償

制度に係る仮渡金実施要領の制

平成23年を

振り返って

8月 ビール祭り大盛況



八月五日に、JA・エーコープ共催のビール祭りが開催されました。

7月 つきがた夏まつり



七月三十日・三十一日の二日間にわたり「第二十八回つきがた夏まつり」が催され、JAでは農産物即売会等を行いました。

10月 農薬容器回収



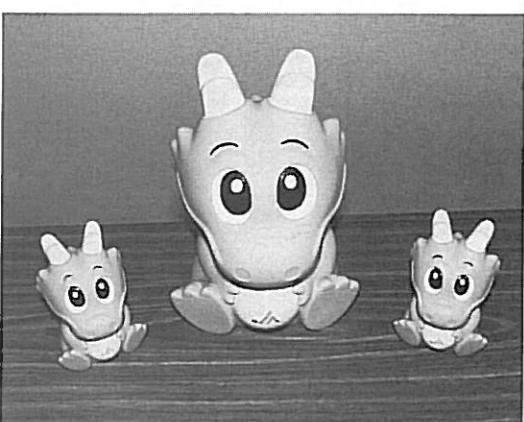
青年部にて、年二回行っている農薬容器類の回収を行いました。来年も、回収を行いますので、ご協力お願いします。

9月 稲刈り体験



毎年JA青年部と交流のある札幌市の児童との稲刈り体験が行われました。

12月 千支の交代



卯年ありがとうございました。辰年一年間よろしくお願ひ致します。

11月 職員研修



月形町農協職員の職員研修旅行でホクレンパールライス工場を視察しました。

… JA貯金からのお年玉…

平成24年の新春に、貯金をしませんか？ JAちょきんでは、1月4日を初貯金キャンペーンとして、入金していただきましたお客様へ、粗品を進呈致します。（数量限定）

2月 スノーメッセージ作成



青年部によりスノーメッセージを作成し、PRしました。

1月 各生産組合総会



一月二十一日、二十六日、花きました。蔬菜生産組合の総会が開催されました。

4月 JA第63回通常総会



平成二十二年度の通常総会が開催され、提案された議案が原案通り可決決定されました。

3月 月形地区TPP交渉参加反対集会



三月五日、TPP交渉参加反対集会が開催され、こぶしを高く掲げ声を合わせてTPP交渉反対を主張した。

6月 小学校へ苗のプレゼント



月形小学校、大谷幼稚園へ、JAよりペットボトルを利用した観察用水稻の苗24個をプレゼントしました。

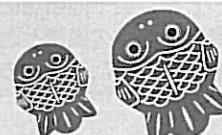
5月 各地区で田植え作業が開始



十九日より新宮地区を皮切りに各地区で田植え作業が開始されました。

どうぞ輝かしい新春をJAバンクと共に迎えてみてはいかがでしょうか。
みなさまのご来店をお待ち申し上げております。

J A月形町貯金共済課貯金（電話 53-3422）



佳史 津坂 伸吾 田畠 豊 金山 我妻 常本 渡辺 齋藤 直河 原徹 佐藤 浩亨 武志 良一 後藤 英一 和宏

組合長	中條敏幸
副組合長	宮下勇作
書記会計	青柳俊治
監事	渡邊訓広
監事	渡辺祥紀
役員	鈴木孝博
役員	本田了
役員	山崎敏美
役員	直浩亨
組合長	斧田貴範



年末・年始業務

	月 日	業 務 内 容	
平成二十三年度(年末)	12月30日(金)	一般業務	午前8時30分～午後5時15分
		貯金店舗	窓口 午前9時00分～午後4時00分 ATM 午前8時45分～午後5時30分
平成二十四年度(年始)	12月31日(土)	一般業務・貯金店舗	休業
		ホクレン給油所	休業
平成二十四年度(年始)	1月1日(日) ～5日(木)	一般業務	休業
	1月1日(日) ～2日(月)	ホクレン給油所	休業
平成二十四年度(年始)	1月3日(火)	ホクレン給油所	営業 午前8時00分～午後5時30分
	1月4日(水) ～5日(木)	ホクレン給油所	休業
平成二十四年度(年始)	1月1日(日) ～3日(火)	貯金店舗	休業
	1月4日(水) ～5日(木)	貯金店舗	営業 窓口 午前9時00分～午後3時00分 ATM 午前8時45分～午後5時00分
平成二十四年度(年始)	1月6日(金)	一般業務	業務始め 午前8時30分～午後5時15分
		貯金店舗	営業 窓口 午前9時00分～午後4時00分 ATM 午前8時45分～午後5時30分
		ホクレン給油所	営業 午前8時00分～午後5時30分 役職員合同新年交礼会 午後6時00分

1月7日(土)以降全業務平常営業

エーコープ営業時間

- 平成23年12月
31日(土) 業務納め
午前9時～午後3時
- 平成23年1月
1日(日) 休業
- 2日(月) 業務始め
午前10時～午後3時
- 3日(火)～4日(水) 休業
- 5日(木)より平常業務
午前9時～午後6時

